



C'est la vie



日中サービス支援型

障がい者グループホーム
セラヴィレヴェ茅ヶ崎

目次

- 1 弊社紹介
- 2 計画地と定員、周辺環境
- 3 支援体制について
- 4 入居者障害の対象種別
- 5 入居者の区分について
- 6 日中支援について
- 7 地域との交流
- 8 最後に

1 弊社紹介

運営主体 ⇒ スターホーム株式会社
三浦郡葉山町上山口1431-1

業務内容 ⇒ 戸建住宅、店舗、アパート、福祉施設の建築とリフォーム全般
Rv-site、キャンピングofficeの運営、アウトドア関連事業
障害福祉サービス（障がい者グループホームの運営）
※建物は自社建築



GH運営状況 ⇒	2018年	2月	セラヴィ横須賀Ⅰ番館（包括）7名AP
	2019年	3月	セラヴィ横須賀Ⅱ番館（包括）10名シェア
		4月	セラヴィ横須賀Ⅲ番館（包括）10名AP
		6月	セラヴィ・ライラック杉山（包括）10名シェア
		7月	セラヴィ横須賀Ⅳ番館（包括）7名AP
		8月	セラヴィ平塚Ⅰ番館（包括）10名シェア
	2020年	2月	セラヴィ横浜Ⅰ番館（包括）10名シェア
	2021年	3月	セラヴィ横浜Ⅱ番館（包括）10名シェア
			セラヴィ横須賀Ⅴ番館（包括）7名シェア
		4月	セラヴィ横須賀Ⅵ番館（包括）10名シェア
		8月	セラヴィレヴェエ秦野Ⅰ・Ⅱ番館（日中）20名＋短期2名
		12月	セラヴィ平塚Ⅱ番館（包括）10名シェア
	2022年	1月	セラヴィレヴェエ横浜Ⅰ・Ⅱ番館（日中）20名＋短期1名
		4月	セラヴィ横浜Ⅲ番館（包括）10名シェア
		5月	セラヴィ平塚Ⅲ番館（包括）10名シェア
			セラヴィ葉山Ⅰ番館（包括）10名シェア
		7月	セラヴィ藤沢Ⅱ番館（包括）10名シェア
		12月	セラヴィレヴェエ小田原Ⅰ・Ⅱ番館（日中）20名＋短期2名
	2023年	4月	セラヴィレヴェエ横浜Ⅲ・Ⅳ番館（日中）20名＋短期1名

2 計画地と定員

計画地 ⇒ 茅ヶ崎市円蔵2137

最寄駅 ⇒ JR線茅ヶ崎駅（バス＋徒歩で16分）、バス停「円蔵」まで徒歩8分

定員 ⇒ 20名 ＋ 短期入所1名
※建築図面添付

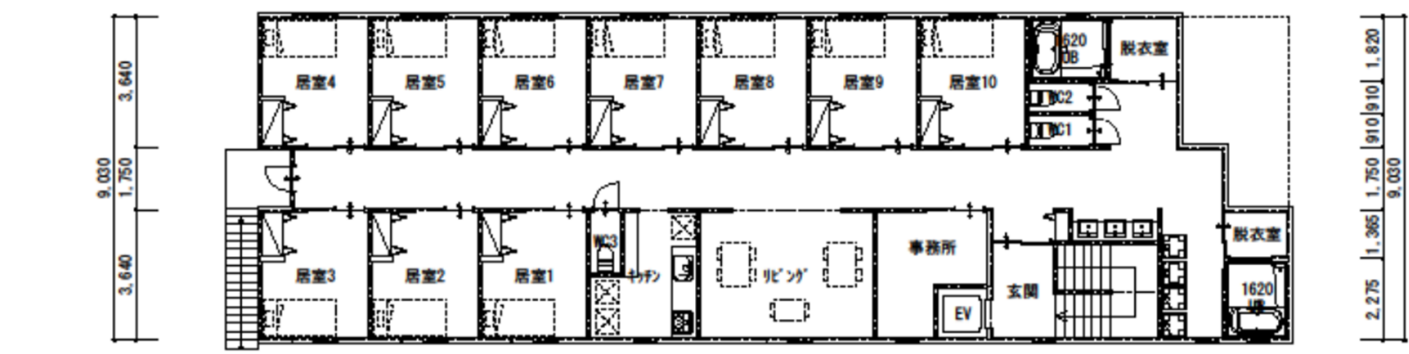
周辺環境 ⇒ コンビニ（セブンイレブン）徒歩6分
郵便局 徒歩9分
歯科 徒歩10分
内科 徒歩10分

※生活に必要な環境が徒歩圏内にあり、整っています





1階平面図



2階平面図

■(仮称)茅ヶ崎市庁舎 project	
□所在地	神奈川県茅ヶ崎市庁舎2137
□敷地面積	1048.23㎡ (317.08坪) ---登記簿謄本による。
	1043.20㎡ (315.56坪) ---セットバック後
□道路	南側
□用途地域	第1種中高層住居専用地域
□建ぺい率	60%
□容積率	200%
□高度地区	第2種高度地区
□防火指定	準防火地域
□日影規制	10m超/4m 4H/2.5H
□その他	埋蔵文化財包蔵地
■グループホーム	
□敷地面積	754.78㎡ (228.32坪) (セットバック後)
□建築面積	260.81㎡ (78.89坪) 34.55% < 60%
□法延床面積	499.05㎡ (150.96坪) 66.11% < 200%

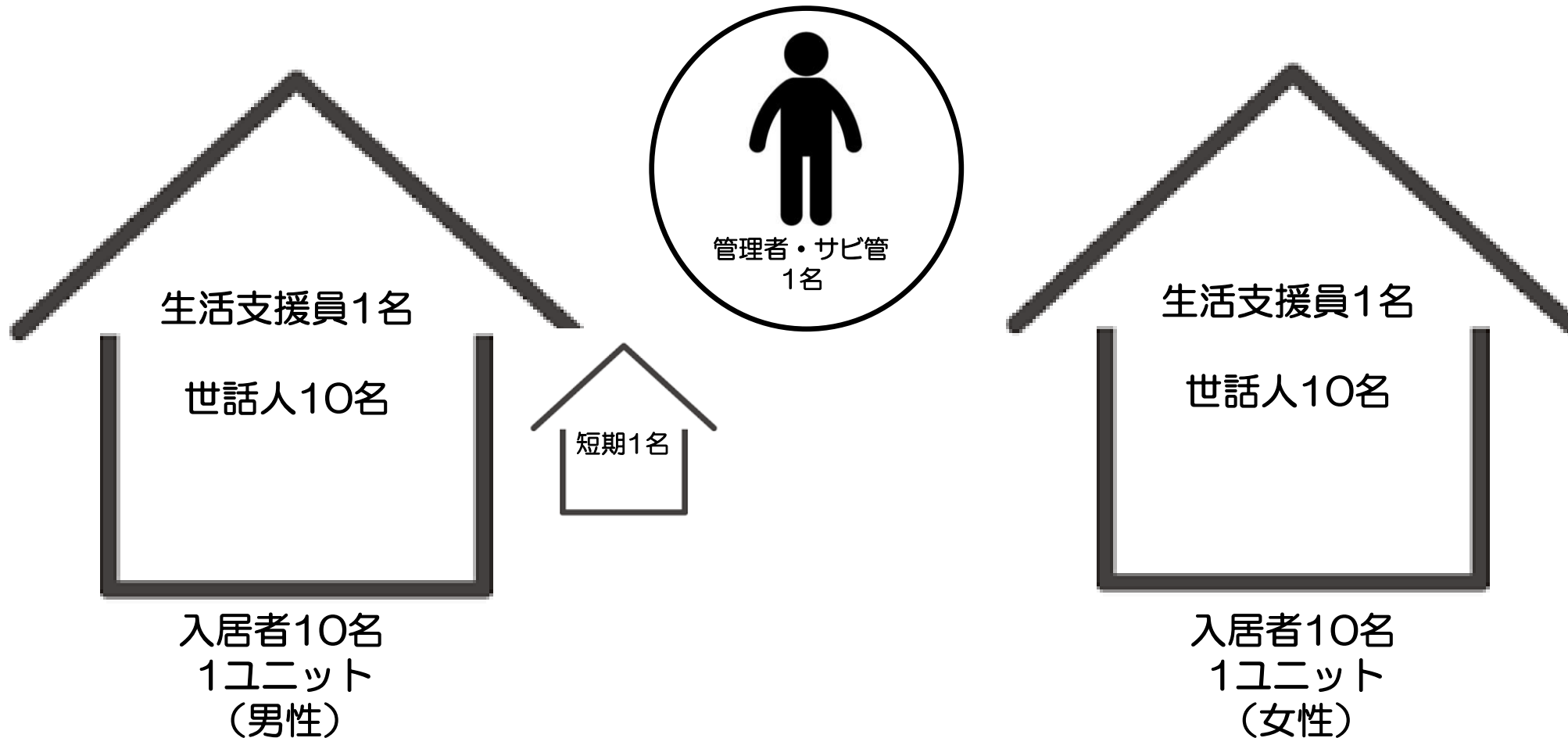
※当計画は自治体における「要綱及び条例」等は考慮していません。
 ※当計画は関係官庁とは未打ち合わせです。
 ※確定測量後、計画に変更を及ぼす場合があります。



3 支援体制について

※日中・夜間含め1ユニット常時2名以上の配置
夜間においても加配体制をとっており1ユニット常時2名
で対応

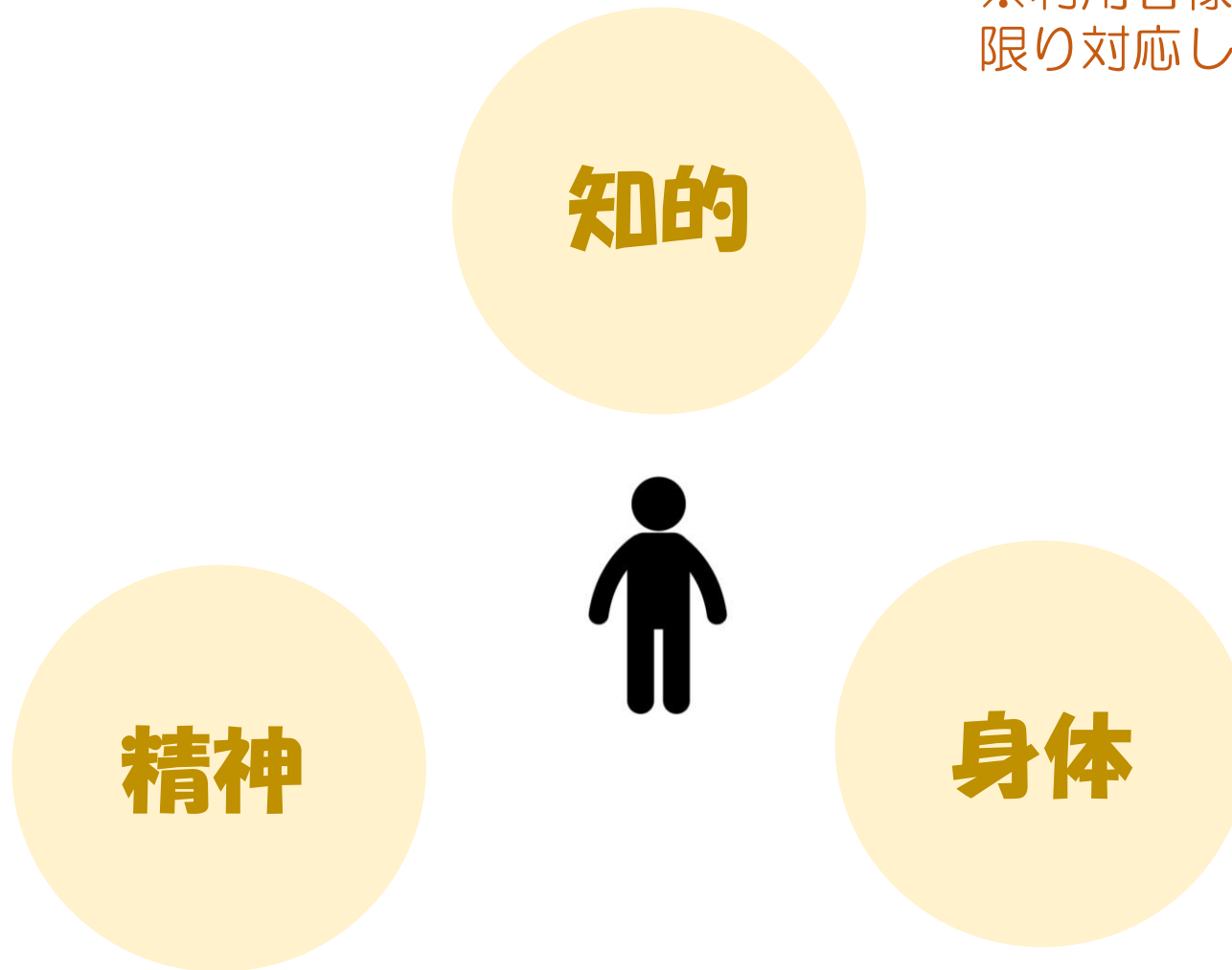
- 24時間365日支援あり
 - 朝、昼、夕の食事提供（土日あり）
 - 勤務はシフト制
 - 短期入所についてはGH人員と兼務配置
- ※状態によってはオーバー人員配置



4 入居者障害の対象種別

全障害を対象にしています

※利用者様から希望があれば、出来る限り対応します



5 入居者の区分について

全区分を対象にしていますが基本は区分3から6の方を受け入れていくようにしています。区分だけでは判断できないですが日中におひとりでご過ごせない方や日中活動に行けない方中心に受け入れ予定です。

面談（ヒアリング）や体験利用をしていただき、支援体制で対応可能な方の入居を受け入れる予定です。

※必要であれば、複数回の体験もして判断しております



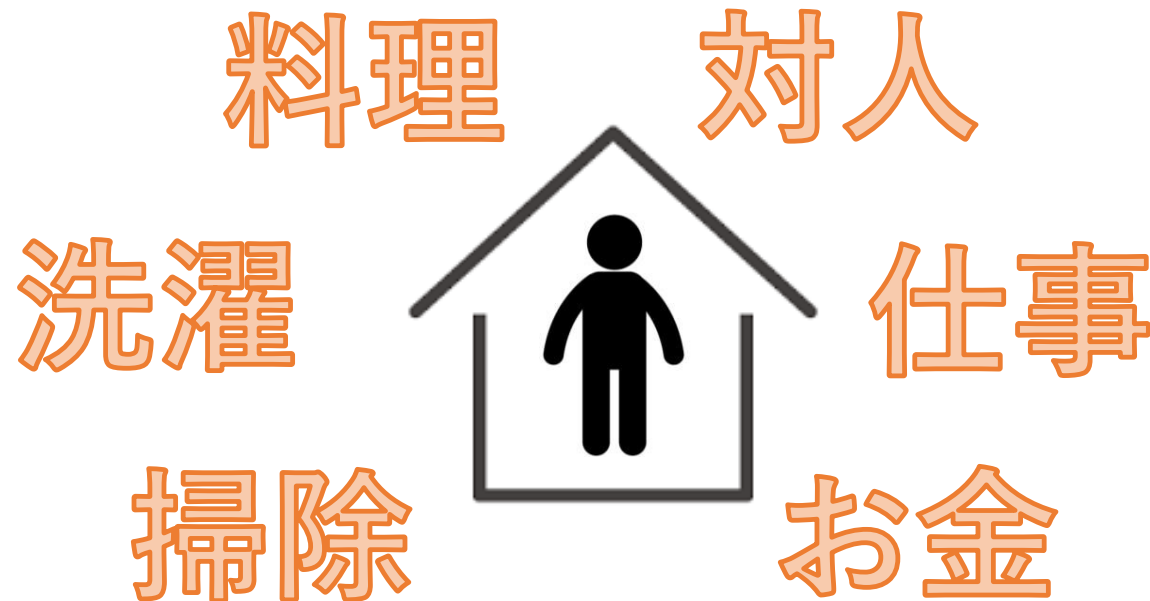
面談・体験
マッチング



6 日中サービス支援について

全員公募予定なので、日中サービス支援については入居者の方のレベルによって内容は変えていきます。グループホームの立ち位置としてゆるやかな自立を目指すための場所と捉えていますので、生活するためのスキルを基本に支援していきます。
グループホームは入居者様の「家」になります。リラックスをして生活を営む場所です。それを踏まえ、その日その日の利用者様の状態・状況によって支援しております。

例：近隣のボランティア、お買い物支援、ワークショップ開催、自治会のお手伝いなど



※料理に関しては利用者様と一緒に昼食や夕食を作ったりしております。食は生きていくために必ず必要であり、楽しみであることと大事にしております。

7 地域との交流

- 地域のボランティア活動 ⇒ 草むしりやゴミ拾い、近隣高齢者宅のお手伝い
- 町内会や自治会の入会 ⇒ 会への積極的参加
- 建築の段階から近隣挨拶 ⇒ 必要であれば説明会の開催
- 土日祝日のホーム見学開催 ⇒ 地域の方にホーム内のことを知ってもらう
- お食事会開催 ⇒ ホームで提供している食事の提供



上記内容を通じて障がい者の理解を深めていただき、ご理解を頂いています

最後に・・・

GHはたくさんありますが今後は世間のニーズはより『日中サービス支援型』のGHが必要と考えています。弊社では神奈川県を中心に他市町村でもGH運営を行っている中でこのニーズは同じです。そのため、できる限りニーズに答えるため弊社ができる限りの動きと貢献をしたいと思い、スピード感をもってGHの普及に尽力しております。

運営している中でGH入居を望まれる方の多さと利用者様の高齢化・また施設から地域移行先になっているためより手厚い支援が行われる『日中サービス支援型のグループホーム』が必要ととらえています。

障害福祉サービス全体として、圧倒的な人員不足・計画相談の不足が大きな課題ととらえており、弊社では新卒採用を強化し、インターン制度開始、自社での計画相談事業所の開設まで視野に入れ運営を行っています。